



人類に  
奉仕する  
ロータリー

# 藤沢東ロータリークラブ 週報

2016~2017 Rotary Club of Fujisawa East



- 会長/石田能治 幹事/林葉之 例会/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/藤沢市南藤沢 4-2 吉田ビル 5階 TEL 0466-41-9191 FAX 0466-41-9192
- 例会場/湘南クリスタルホテル藤沢市南藤沢 14-1 TEL0466-28-2111 FAX0466-28-2126

ROTARY SERVING HUMANITY



## 第 1945 回例会 2016 年 10 月 4 日 (火) (天候) 晴れ No.12

点鐘  
閉会

クリスタルホテル 4F 「パルティール」  
Partir

国家斉唱：君が代

ロータリーソング：「我等の生業」

「4つのテスト」幹事 「理念」幹事

ゲスト・スピーカー・ビジター紹介

ゲスト・スピーカー

大森久巳男 様 (茅ヶ崎 RC)

ビジター 横山貢 様 (茅ヶ崎 RC)

和田幸男 様 (茅ヶ崎 RC)

バナー交換 なし

会食・懇談

-会長報告-

- ・9/29 (木) 第3グループで新会員の集いがございました。当クラブの対象の竹澤会員と徳山会員は業務の都合により欠席のため、会長・幹事で出席しました。また、12/8 (木) にもありますのでよろしくお願い致します。
- ・10/16 (日) の地区大会ですが、御多忙中、皆様奮ってご参加願います。バスもご用意しますので、よろしくお願い致します。

-表彰&特別挨拶- なし

-幹事報告-

- ・本日例会後、理事会を新事務所にて行います。
- ・地区経由で湘南学園インターアクトクラブより「PTAの日」の案内が届きました。11月6日 (日) 9時から湘南学園周辺の地域清掃活動を行います。1時間余りの清掃活動です。終了後、昼食会もございます。
- ・回覧物を前日も配布させて頂いておりますが、ご覧の際は、名簿にチェックをお願いします。
- ・前日も案内致しました神奈川県ロータリアンの親睦テニス会の案内も入っております。11/8 (火) 湘南ローンテニスクラブにて。

- ・第3グループのゴルフコンペの案内も今一度ご連絡します。11/21 (月) 湘南シーサイドゴルフ倶楽部にて。ご確認ください。
- ・会長から案内を致しました 10/16 (日) の地区大会につきましては、当日朝9時に藤沢駅南口のオーパ前から江の島タクシーのバスで出発します。朝早い時間ですがよろしくお願い致します。
- ・地区よりガバナー月信の原稿依頼が届いております。ご協力をお願いします。

-委員会報告-

- ・出席報告 出席委員会
- ・スマイル報告 スマイル委員会
- ・ロータリーの友 概要 加藤雑誌・R情報委員長

-会員&配偶者誕生日-

会員誕生日 配偶者誕生日 なし

-卓話-

「保護司を行って」

茅ヶ崎 RC 大森 久巳男 様



点鐘  
閉会

出席報告

例会月日	総員 (名)	出席 (名)	欠席 (名)	出席率 (%)	メークアップ (名)	修正出席率
10月 4日	34 (30)	18	11	67.70		
9月20日	34 (30)	22	8	70.00	1	76.4



【茅ヶ崎 RC 大森久巳男 様】

入澤初子様のお誘いで初めてお邪魔しました。卓話とのことで、お話しさせていただきます。まとまりの無い話しですがお許し下さい。

【茅ヶ崎 RC 横山貢 様】

はじめまして 茅ヶ崎 RC 横山と申します。本日は大森会員、和田会員と共におじゃまさせていただきますので宜しくお願いします。

【茅ヶ崎 RC 和田幸男 様】

今日は大森さんのつきそいでおじゃましました。入澤様、須藤様、田中先生お世話になってます。

【石田能治 会長】

大森様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。茅ヶ崎 RC 横山さん、和田さん、ようこそ。

【林葉之 幹事】

大森様、本日の卓話たのしみにしております。8月の台風の時に流れてしまって大変申し訳ありませんでした。本日は、よろしくお願ひ致します。

【鈴木利雄 会員】

9/15 妻の誕生日、綺麗なお花をありがとうございました。楽しませていただきました。

【入澤初子 会員】

茅ヶ崎ロータリークラブより大森様、横山様、和田様ようこそおいで下さいました。大森さん本日の卓話大変楽しみにしております。よろしくおねがい致します。

【吉田新一 会員】

大森様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。茅ヶ崎 RC 横山様、和田様ようこそいらっしやいました。



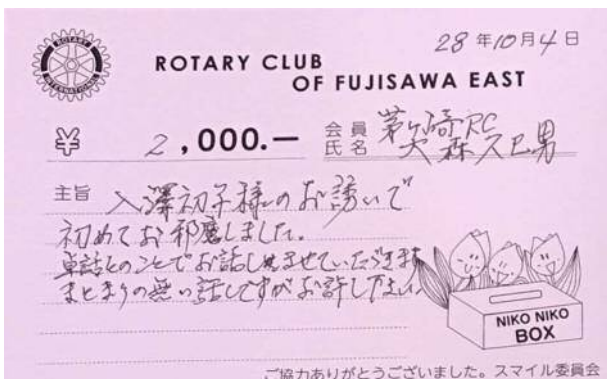
ロータリーの友 平成 28 年 10 月号抜粋です。ジョン F・ジャーム RI 会長の今月のメッセージです。標題は、「最後の闘い」

親愛なるロータリアンの皆さん、

1979 年、当時国際ロータリーの会長だったジェームス L・ポーマ氏がフィリピンに赴き、子ども達に予防接種を行いました。これがロータリーのポリオとの闘いの最初の活動です。会長が、赤ちゃんの口にワクチンを垂らすと、そばでお兄ちゃんが真剣に会長のズホンを引っ張っているのがわかりました。そして言いました、「有り難う、本当にロータリー、有り難う」 お兄ちゃんは、弟のために何をしてくれたかが分かったのです。ロータリーがポリオ撲滅に取り組む以前は毎年世界で 35 万人の子供がポリオ麻痺で亡くなっていたのです。

ポリオプラスに着手してから 31 年たった今、フィリピンの子どもたち、そして世界の子供達は、ポリオと云う病気や、そして、その恐ろしさを知る事なく成長しています。過去には毎日 1000 件のポリオが発症していたのが現在では一週間に 1 件未満となりました。今はポリオの恐怖心も弱まっております。しかし未だ、ポリオの撲滅が終わってはいないので。ロータリーは今もポリオ撲滅のために取り組んでいる事を世界に知ってもらわなければなりません。

そこで、10月24日は、「世界ポリオデー」を記念して、ポリオへの意識を高め、ポリオ撲滅に必要な基金を募ります。そしてオンラインでのイベント開催に協力をお願いします。アイデアや、資料は日本語でいただけます。私を含む数万人のロータリアンと共にアトランターのアメリカ疾病対策本部で午後の6時(日



ご協力ありがとうございました。スマイル委員会

本時間 25 日午前 8 時)に、ライブで配信する世界の動向をご覧下さい。素晴らしい講演者と共に、私も参加してポリオ撲滅に関する科学、パートナーシップ、人間ドラマなどの内部事情をお伝えします。私たちはポリオの無い世界への始まりです。最後の闘いは、「人類に奉仕するロータリー」によってポリオの撲滅を達成する。人生一度のチャンスです。

7 ページの特集は、写真で振り返る「日本のオリンピックとロータリー」です。この度リオのオリンピックとパラリンピックが終わりました。扱って、これまでの日本のロータリアンとオリンピックとのかかり合いはどうだったかを振り返ります。1961 年に年次国際大会が東京ロータリークラブをホストクラブとして東京で開催された。そのとき、オリンピック東京大会記念設置委員会が設置され、東京オリンピックの聖火台にロータリーの徽章が刻まれる事になりました。ロータリーはオリンピックに 1 人 1000 円の協力金をしまして、剰余金がまして、聖火台を寄贈したのだそうです。その後アジア大会でも聖火台を寄贈しました。以後、1972 年の札幌オリンピックは大倉山スキー場に寄贈されました。この時、3510 地区のロータリアンは札幌グランドホテルでのロータリーインターシティミーティングで内外から訪れるロータリアンのお世話をしたそうです。以後 98 年の長野オリンピックでは、白馬の「感動のジャンプ競技場に、2600 地区のロータリークラブがミニ聖火台の寄贈。そして、インターアクター達も国際貢献の雪だるまを作ったの大活躍だったそうです。

14 ページです。大きな英語で「エンド ポリオ ナウ」パキスタンでポリオとの闘いの記録。ポリオ撲滅ゾーン、コーディネーター坂本俊雄氏(八王子南 RC)の報告です。

概略 1994 年に南北アメリカがポリオ撲滅宣言、2002 年にヨーロッパで撲滅宣言、アジア全域も 2014 年に撲滅宣言が出ましたが、ナイジェリア・パキスタン・アフガニスタンが発生したのです。

ポリオの現状を把握するために、2015 年 10 月に小沢パストガバナー達とポリオの調査に行きました。

パキスタンでのポリオ発生は、アフガニスタンと国境を接するファーター地区と云う、連邦直轄地区と隣り合ったカイバル地区です(下の地図の赤いところ)政治状況が悪いこの時期にイスラム教の神学校の学生に政府が干渉したために状況が変わりポリオ患者が増加したのです。

パキスタンは、インダス川上流の文明の発祥地

ですが国土は日本の二倍、人口 1 億 9 千万人。新生児は 400 万人、死亡率は 1000 人あたり 47 人と云う妊産婦死亡率は日本の 28 倍という国であります。

2016 年 3 月初旬のニュースでは、パシワルロータリークラブ(第 3272 地区)が 6 人の医師と 6 人の医療スタッフが 5 歳以下の子供 295 人にポリオワクチンの注射をしたそうです。その他医療チームも黄色のジャケットを来て銃を携えた自警団員に守られてのスラム街に入りポリオ撲滅との闘うのです。

17 ページ・ポリオの欄が続きます。稚内南ロータリークラブでは「エコキャップ運動を推進して」は、昨年からエコキャップの収益と、稚内みなとまつりでのポリオ撲滅の資金を集める運動や、帯広北 RC「ホコ天でポリオ募金」所謂、ホコ天とは、歩行者天国の略とか。

18 ページは、ロータリー 100 周年のコーナーです。ベトナムへの内視鏡とグローバル補助金

23 ページ よねやまだよりです。巣立った奨学生たちは、今、何しているかのページです。カンボジアのオム・ロムニーさんは、カンボジア工科大学の学長です。その他みんな素晴らしい。

台湾の張さん達も 夫々が国際貢献の道を歩いています。よねやまが作る人材紹介です。

26 ページ ロータリー米山記念奨学金の資料公開です。理事長は横須賀の小沢パストガバナーです。

28 ページ は世界のロータリークラブの活躍です。

北マリアナ諸島のサイパンでは、サイパン RC と、八王子南 RC で合同して、第二次世界大戦の戦没者への追悼慰霊祭。この海に身をなげた人々を思うと、涙が押さへられなかったそうです。

後の紹介はレバノン・・・スリランカ・・・アメリカのオハイオ州、

コロンビアのロータリークラブ。

30 ページは公共イメージ大作戦

金沢ロータリークラブは、外国人観光者に通訳の出来るドライバーの実験。佐賀南 RC-のシチメンソウの育成。いわき勿来ロータリークラブでは、熱気球で子供達に空の勉強。

34 ページは 心は共にコーナーです。熊本地震と、震災から 5 年の東日本大震災のロータリークラブの支援の輪の報告です。宮城の酒米をお酒にして被災地に送る。2700 地区

39 ページニ神編集長のアドバイスです。「わ

が家がイチバン」よそのクラブの例会に行ってみよう。それで標題が「我が家がイチバン」と言っているのです。是非よその例会を覗いて見ましょう。

縦のページです。11月7日 2660 地区 IM7 組の基調講演です。NPO 法人ロシナンテス理事長 川原尚之氏

標題は「自分に誇りを持って相手を理解する」今日は、われわれがアフリカ・スーダンで進めてきた仕事と、東日本大震災後の活動を報告し、これからの海外での国際協力、国内での活動をどの様に進めていけばいいのかを、皆さんとともに考えて見たいと、思います。

Npo 法人ロシナンテスの名前の由来は、小説「ドン・キホーテ」に登場する痩せ馬の名前「ロシナンテ」に、複数の S をつけたものです。1人1人はロシナンテの様に無力かもしれないがロシナンテが集まってロシナンテスになればきっと世界を笑顔に出来るはずと、思いを込めて、この名前を付けました。

講師は、九州大学医学部卒業して、ロンドン大学で熱帯医学を学んで医学博士。在スーダン日本大使館にて、医務官兼二等書記官を務めました。そして 2005 年に大使館を辞して、スーダンの医療活動に入ります。スーダンは、内戦の結果、欧米からテロ国家とみなされ経済制裁で援助を停止されております。皆さんは、アフリカの子で極端にお腹の膨れた子の写真をご覧になった事があるでしょう。サンドフライという蠅による寄生虫に、肝臓と脾臓が侵され「リーシュマニア症」と云う致死率の高い病気なのです。スーダンの家は一つ一つのレンガの積み重ねです。私のロシナンテスも、日本の医学を積み重ねて立派な家・ロシナンテスにしたいと思っています。

縦の 9 ページ 佐渡は居よいか住みよいか 話題の佐渡の紹介です 佐渡南ロータリークラブ。13 ページ 友愛の広場です。「ロータリーの変化」とか「ロータリーらしさとは」の問いかけ等。20 ページ。二題、一つは成田 RC の加藤健司会員「自転車の魅力」一つは「進化する防犯カメラ」

その他、良い話が一杯あります。読んで下さい。

以上、10月号を抜粋してみました。



## 卓話「保護司について」

茅ヶ崎ロータリークラブ 大森久巳男 様



みなさん、こんにちは。

ご紹介に預かりました大森でございます。

この 6 月まで茅ヶ崎ロータリークラブの会長をやらせていただいております。今年は会員増強委員長を務めております。

ご紹介いただきましように、入澤さん、須藤さん達とは法人会で長いおつきあいでした、いろいろとお世話になってきました。私の法人会の方は 40 年くらいやらせていただいております。過去、会長も務め、今は幹事を務めております。

今日は卓話ということで「保護司について」話しをして欲しいということで御引受けしました。保護司としては、平成 11 年 10 月から任命を受け、平成 26 年 9 月まで 16 年程努めました。保護司にも定年がございまして、2 年前に 75 歳の定年で卒業させて頂きました。

この 16 年間保護司として、いろいろな方と接して参りました。いろいろな方をお世話させて頂くと同時に、様々のことを学びました。

住まいは茅ヶ崎市内萩園です。そこに今宿小学校という新設校がございます。茅ヶ崎の小学校は古い順に松林小学校、茅ヶ崎小学校、鶴嶺小学校などがありまして、人口増加と共に鶴嶺小学校が一杯になりまして、その受け皿として新設校ができました。今宿小学校ができて少年スポーツクラブ、少年サッカーFC 今宿を立ち上げました。新しくできた学校ですのでいろいろスポーツに取り組んできました。私は卒が 4 人おりまして、その男の子たちを如何にして育てるかも自分として考えておりました。何か持て余すより、スポーツで鍛えるのが一番だ、ということで、長男には剣道、次男三男も野球をやっていましたが、

小学校ができたときに新任の先生がサッカーをやるからみんなどうだ、という話になりまして、折角野球を続けていた次男三男がサッカーをやりたい、と言ってきた。サッカーを始めまして、それから40年経ちます。その間子供達の世話をするうちに、いろいろな子どもがいまして、喧嘩したり、悪さしたりする子などさまざまでした。私も後援会を組織して、合宿、試合などに引率したり、私も審判員のライセンスをとったりして走り回ったりしたこともありました。

そのような形で子どもたちの面倒をみる内に保護司をやって欲しいという依頼がきました。その当時、会社でいろいろと忙しかったので、3度断ったのですが、いろいろと新しい人が入ってくる土地柄でもあり、世話をしてくれる人が少ないので何とかお願いしたい、とのたつての依頼でして、私も頼まれるとイヤと言えないところもあり、できもしないのに受けてしまう性格でもありました。

そういうことで保護司をスタートをしました。16年間保護司を務めました。この中で「保護司を務めた方はいらっしゃいますか？」いらっしゃいませんか。

いろんな方で間違いを犯す方がいます。保護司になった早々、まず殺人で30年収監されていた方で、出所した際に保護司を担当するように言われました。保護司になったばかりで荷が重い、と監察局の担当者に話したのですが、私も一緒にやりますからお願いします、とのことで引き受けました。その方を2年程担当しました。保護司というのは月に最低でも2回は対象者と面接して、生活の状況その他を見ていき、指導することになっています。

横浜の保護観察官が法務局からきまして専門的な力を借りてやります。そういう中で、2年近く対応していましたが、年齢も私より5歳程若い方でした。その方も「年も歳なので、残りの人生を楽しむんだ」と言われていました。30年の刑務所所の中でしたので、刑務作業報奨金をいくらか所持していましたが、それがあろうちはなんとか生活していましたが、4年近く経った時に自殺してしまいました。びっくりしました。連絡がとれなくなり、住まいを訪ねても不在で、近所に聞いたら自殺していたとのこと。その後、保護監察局へ連絡して後処理をしました。お金が尽きたのである意味の諦めがでたのでしょうか。

いろいろと手配をしていました際に、力になってやれなかった事などいろいろと考えさせられました。16年間の保護司活動で一人だけでした。あとは、大体年齢が若い方です。

中学生くらいで窃盗、万引きなどをやってしまう子たちです。やってしまってあと監察院の対象になり、犯罪によっては少年院に送致される。送致された後は（静岡にあるのですが）少年院へ面会へ行ったり、その後出所したら月に2回ほど会って近況報告をさせ、それから指導を行い横浜の保護監察局にきちんとした報告書（A3版）を提出します。

16年間で延べ38人を担当しました。単純平均では2.3人/年ですが、時には4人、5人を担当しなければなりません。

その地域にたまたま続けて犯罪が起きることがあります。保護司の定員はありますが、均等に配分されている訳でもなく、病気などの保護司がいたりすると一人で5人受け持つことがありました。

そういう中でも、本人の住まいへ訪問したり、ウチへ来て貰ったりして面談を行いますが、若い人で一番困るのは約束を守ってくれない人ですね。やはり、罪を犯す人は小さい時から躰がされていないのかな、とも感じました。

例えば、約束の時間になっても来ない、いろいろと電話等をして話すと、「今横浜にいます」というような感じです。その辺の世話の焼けるところが一番大変な仕事だと思いました。決められた事がキチンとできるかどうか？それができれば本人がどうやるべきかアドバイスなどが出来るわけですが中々大変でした。

それでもそれなりに慣れてきて、要領が分かってきて保護司をやってきました。それにしても最初の方があまりにも強烈な印象でした。本当に気持ちの整理がつかず、続けられないとの思いもありました。

それでも、保護司をやっていくうちに少しでも若い人たちが特に良い方向に進んでいくことを見ているいると「やりがい」を感じるようにもなりました。やはり何回同じことを言っても同じことを繰り返す人もいますし、何かをきっかけに立ち直ってキチンと約束を守ってくれる人もいます。

それなりに、使命感が湧いてきて続けてきました。

いろいろなケースがございまして、話せばきりがないところではあります。

保護司ということについて説明をさせていただきます。制度としては昭和24年7月に発足しています（戦後の保護司）。62年が経ちます。我が国の保護司制度は、保護司、更生保護施設、更生保護婦人会、BBS会、協力雇用主などの組織でできております。

保護司は法務省の非常勤公務員でもあります。

全てボランティアで行っています。例えば、静岡などの刑務所への面会に行くときは、交通費が実費が支給されるだけでそれ以外何の手当もありません。

保護司を一生懸命務めることで若い人や対象者が立ち直って良い方向へ向かって社会復帰できるところにやりがいを感じて、共に喜ぶという仕事でございます。

更生保護施設としては、一番近いところでは小田原にございます。その刑務所を出ても、親がいなかったり戻るところがないという人も中にはいます。もう家族と縁が切れてだれも身寄りがない状態の人がその施設に入ります。一時的にその施設で過ごして社会復帰を目指します。

更生保護婦人会があります。これは保護司の夫人が組織しまして奉仕活動の指針になることを行ったり、少しでも活動資金の元になるようなことを行っています。

BBS会というものがあります。

Big Brother Sister の略で、お兄さん、お姉さんたち、この湘南地域では文教大学の学生たちがBBSに参加して貰っています。登録している人数だけでも40人位います。その内容は保護観察処分の子ども達の勉強をみてあげる、とかレクレーションを一緒に行きながら、対象者たちはあまり友達もいなくそういった機会に恵まれないので一緒に遊んだり、ゲームなどを通して仲良くなると、お姉さんたちのいう事を聞いてくれるようになります。

最後に雇用主ですが、刑務所などを出所してきた人たちは中々就職できません。それを承知のうえで雇って頂く雇用主に協力して貰います。大体が建設業多いです。

観察中ですので働きながら真面目に観察に対応しているかケアなどを行っていきます。

そしてキッチンと立ち直って仕事をしながら生活していく様を見ていくのは大変嬉しいですね。また一方ではやはりもうすぐ観察期間も終わる

というのにまた同じ犯罪を犯してしまってまた収監される。保護観察期間も収監期間もどんどん増えていくケースもあります。一番長い期間の子どもでも5年くらいでしょうか。

また、保護観察局から収監されている人が会いたいとか手紙のやりとりと続ける人たちは立ち直りが早いということもあります。

「やはり、人は支え合わなければ生きていけないと先生から教えて頂きました」とある対象者。ただ、支えてあげるだけでは駄目で、共に一緒に考えてあげるなどしながら立ち直す支援をしてきました。やはり、人間にとって一般的に重要なことは、まず約束を守ること、時間を守ること、挨拶ができることです。今までの経験からそれができれば心配のない状況になります。

とりとめのない話で恐縮ですが、時間ですのでこれで私の卓話を終わります。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 閑話休題

以前卓話に来ました坂本さん(2016.5.24 例会湘南ベルマーレの坂本鉦司様)の近況ですが、今年度はスポーツデレクター(SD)としてチームの役割を行って貰うことになりました。湘南ベルマーレは昨年主力が抜けた影響で成績が落ち込んでおり、このままだと2部落ちになってしまいます。その中で坂本さんが如何にチームを立ち直らせてくれるか期待しております。

ご清聴ありがとうございました。

### 保護司法第1条

保護司は、社会奉仕の精神をもつて、犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、もつて地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与することを、その使命とする。

### 保護観察

犯罪や非行をした人たちと定期的に面接を行い、更生を図るための約束事(遵守事項)を守るよう指導するとともに、生活上の助言や就労の手助け等を行います。

